

アクセスマップ



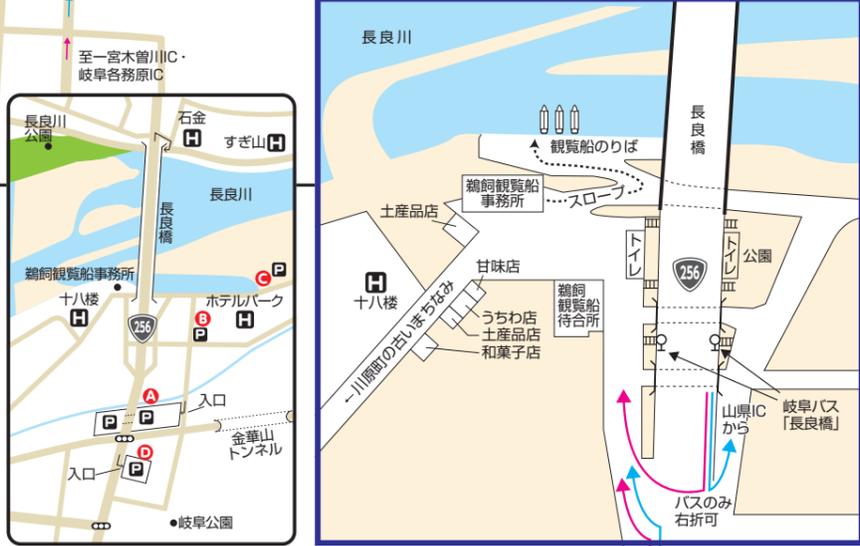
近くのみどころ

- 1 岐阜城
- 2 ぎふ金華山ロープウェイ
- 3 岐阜公園
- 4 岐阜市歴史博物館
- 5 川原町の古いまちなみ
- 6 鵜飼観覧船造船所

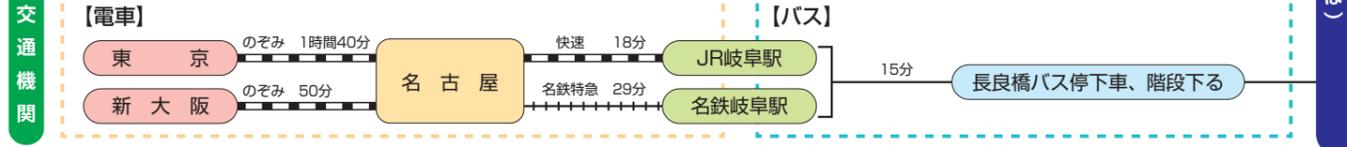
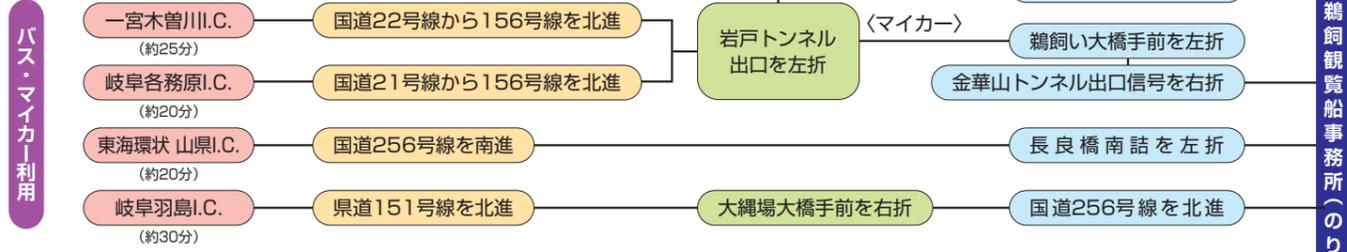
7 長良川うかいミュージアム (岐阜市長良川鵜飼伝承館)

ぎふ長良川の鵜飼の魅力多彩な展示等で体験できる博物館。迫力あふれる映像や参加体験型の展示を通じて、楽しみながら鵜飼の世界を満喫できます。

営業：5/1~10/15 9:00~19:00(入館は18:30まで)
10/16~4/30 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休日：10/16~4/30の期間中 火曜日(祝日の場合は翌平日)
年末年始(12/29~1/3)
一部指定日
料金：大人 500円 小人 250円



乗用車	A 堤外駐車場(第1)	143台	310円	1回(1時間無料)
B 堤外駐車場(第2)	36台	310円		
C 鏡岩緑地	279台			無料
バス	D 大宮町駐車場(要予約)	18台	1,040円	1日単位(30分無料)



鵜飼手配の最強ガイド

旅行代理店様用

風雅1300年
今に伝える感動絵巻

令和6年度 ぎふ長良川の鵜飼

期間：5月11日~10月15日

鵜飼よもやま話

◆ 伝統漁法・鵜飼とは？

鵜匠の手繰さばきで鵜が鮎を獲る伝統漁法。
鵜飼とは、鵜匠が10~12羽の鵜を見事な手繰さばきで操り、鵜が鮎を捕る日本の伝統漁法のひとつです。息の合った動きで漁が行えるのは、毎日一緒に生活する鵜匠と鵜ならではのコンビネーション。静かな水面に篝火を焚いた鵜舟がゆっくりに現れる。「ホウホウ」という鵜匠の掛け声で一気に鮎を捕らえる鵜たち…さながら歴史絵巻のような幻想的な情景です。

◆ 鵜飼の起源とあゆみ

古事記・日本書紀でも書かれ、1300年受け継がれた長良川の鵜飼。
日本の鵜飼の歴史は極めて古く、日本書紀・古事記にも記述が見られるほど。長良川の鵜飼は大正2年(1913年)の戸籍に記載されていることから、およそ1300年の歴史があります。長良川では「鵜匠」という地位を確立させた織田信長公や、鮎鮎を好み江戸に献上させたと言われる徳川家康公など時の武将に愛されて、今日まで大切に守られてきました。

◆ 鵜について

体長80~90cmの渡り鳥。2~3年訓練して一人前の鵜に。
鵜飼の立役者である鵜は、野生のウミウ。現在は茨城県の日立市十王町で捕獲されています。もともと渡り鳥で学習能力も高く、新しい環境に順応しやすい性質を持っており、鵜匠と毎日一緒に生活し2~3年かけて一人前に育て上げられます。鵜が一生懸命に捕らえる鮎は、主に清流にいる淡水魚。「鵜飼の鮎は鮮度が高い」と、昔から珍重されてきました。

鵜匠

ぎふ長良川の鵜匠は岐阜市に6名、関市に3名いる宮内方式部職鵜匠であり、親から代々受け継いだ技を磨いております。

- 杉山 雅彦 (マルウ)
- 山下 哲司 (マルヤマ)
- 杉山 喜規 (ヤマジヨウ)
- 杉山 秀二 (マルヨ)
- 杉山 英孝 (ワチガイ)
- 山下 晃正 (マルイチ)

装束

- 漁服(りょうふく)**：黒または紺色の木綿でできています。
- 胸あて(むねあて)**：火の粉や松やこの油をよけた、ポケットにもなります。
- 足半(あしなか)**：普通のワラの半分長さで魚の脂や水あかで滑らないようになっています。
- 風折烏帽子(かざおりえぼし)**：黒または紺色の麻布で、頭にまきつけて篝火から頭毛をまもりまします。
- 腰褌(こしみの)**：ワラ製で、水しぶきを払い、身体が冷えるのを防ぎます。

鵜舟

- 篝火(かがり火)
- 篝火(かがりぼう)
- 松割木(まつわりぎ)
- 篝火(かがり)
- 手縄(たなわ)
- なか乗り
- とも乗り
- 鵜舟(うぶね)

鵜飼観覧タイムスケジュール

鵜飼観覧船事務所予約の場合

受付

ご予約の時間より早めに鵜飼観覧船事務所窓口にて受付を済ませ、乗船券をお受け取りください。
(乗船券には船名が記載されています。)

17時45分頃 鵜飼説明

観覧船のりばにて、鵜匠による鵜飼説明があります。
※観覧船事務所裏手のりばのみ実施。
※御料鵜飼実施日・花火大会の日を除く。

乗船

指定された観覧船に乗り込んでください。

出船

鵜飼観覧ポイントへ向かいます。
長良川・金華山などの風景をお楽しみください。

19時45分頃 鵜飼開始

鵜飼が始まるまでの時間を、お食事・宴会等でお過ごしください。

川岸に停泊

川の状態等により狩り下りまたは「付け見せ」を観覧いただきます。
鵜匠の手縄さばきや鵜が鮎を捕らえる様をお楽しみください。

狩り下りまたは付け見せ

鵜飼の始まりを合図する花火が上がります。いよいよ鵜飼が始まります。

総がらみ

川の状態等により狩り下りまたは「付け見せ」を観覧いただきます。
鵜匠の手縄さばきや鵜が鮎を捕らえる様をお楽しみください。

20時30分頃 下船

余韻を楽しみながら下船します。
※各観覧船の天候、船数、船数、イベント等によって前後します。

宿泊施設のご案内

よりのりばへお越しください。

船内での食事



鵜飼観覧



鵜飼観覧



総がらみ



鵜飼観覧船手配マニュアル

期間	5月11日～10月15日 ただし、鵜飼休み及び増水等で鵜飼ができない日は中止となります。
鵜飼開始時間	19時45分頃 (イベント【下記参照】により変動があります。)
観覧船下船時間	20時30分頃 (当日の天候、船数、河川の状況によって前後します。)
鵜飼開催場所	岐阜市長良橋上流
食事等手配	各料金は乗船のみの料金です。 宿泊・弁当・飲み物は各自で手配・準備ください。

乗合船		※税込価格です	
出船	全日	大人	小人
18:15 出船	全日	3,500円	1,800円
18:45 出船			
19:15 出船	平日	3,200円	1,800円
	土日祝日	3,500円	1,800円
納涼鵜飼20:40頃 出船		2,900円	1,500円

※小人とは小学生以下(3歳未満の者を除く)をいい、大人とは12歳以上(小学生を除く)をいいます。
 ※花火大会開催日は、運航いたしません。(8月 山の日)
 ※鵜飼が始まりますと、鵜飼をよりよくご覧いただくため船内の照明を暗くいたしますので、お食事は鵜飼開始までにお済ませください。
 ※全コース船内禁煙です。(河原での喫煙は可能です。)

〈出船時間〉
 ◆18時15分(鵜飼開始まで90分)
 グループなどでお酒を飲んだり食事を囲んだりして船上での小宴会をお楽しみいただけます。
 また、料理や飲み物を持ち込まずにご乗船いただくことも可能ですが、鵜飼開始までの待ち時間が長いので、料理等を持ち込んでのご乗船をお勧めいたします。
 ◆18時45分(鵜飼開始まで60分)
 食事の時間も十分あり、家族やカップルなど、少人数でのご乗船にお勧めです。
 ただし、船内では飲食物の販売をいたしておりませんので、飲み物やおつまみ等を持ち込まれた方が良いでしょう。
 ◆19時15分(鵜飼開始まで30分)
 待ち時間が短いので食事を済ませての乗船、もしくは下船後に食事をされる方にお勧めです。

令和6年度乗船定員数	料金	
	通常	納涼鵜飼
50人乗り	148,800円	123,300円
40人乗り	119,000円	98,600円
30人乗り	89,300円	74,000円
20人乗り	59,500円	49,300円
15人乗り	44,700円	37,000円
16人乗り(椅子席)	59,500円	49,300円

料金等

※定員までのご乗船は可能ですが、船内で食事をされる場合、少し窮屈な場合がございますので、定員の8割程度までのご乗船をお勧めします。
 ※花火大会開催日は、5割増しとなります(8月 山の日)。なお、花火大会が開催されない年もあります。
〈出船時間〉
 17時30分から19時15分までのご希望の時間に出船いたします。

修学旅行

※修学旅行でのご乗船の場合、引率者を含めお一人**1,500円**でご乗船いただけます(岐阜市内での宿泊が必要)。また、観覧船は貸切扱いいたしますので、一般のお客様が同乗することはありません。
 ※指定様式での事前申請が必要となります。また、修学旅行に限らず学校行事でのご乗船であれば、修学旅行料金の適用が可能な場合がありますので、鵜飼観覧船事務所へお問い合わせください。

納涼鵜飼

原則として7月中旬から8月下旬の土曜日に2回制で鵜飼を行います。1回目開始予定時間/19時30分 2回目開始予定時間/21時10分
 ※2回目の料金は通常よりお手頃な価格になります。詳細は、鵜飼観覧船事務所へお問い合わせください。

御料鵜飼

開催期間中に8回行われます。長良川上流において、宮内庁へ納める鮎を捕ります。その後、川を下ってくるので鵜飼観覧開始時間が通常より約40分遅くなります。詳細は、鵜飼観覧船事務所へお問い合わせください。

船種	船数	構造		トイレ有無	動力	
		FRP	木造		船外機	人力
50人乗り	2隻	2隻		全船無し	2隻	
40人乗り	5隻	5隻		全船有り	5隻	
30人乗り	12隻	4隻	8隻	4隻有り	4隻	8隻
20人乗り	7隻		7隻	全船無し		7隻
15人乗り	8隻		8隻	全船無し		8隻
16人乗り(椅子席)	2隻	2隻		全船無し		2隻

※バリアフリー観覧船 40人乗り…3隻 30人乗り…2隻
 ※掘りごたつ式観覧船 30人乗り…4隻
 ※川岸には、トイレ専用船がございます。



ぎふ長良川の鵜飼に新たな観覧船が登場

白木の「白」。美濃和紙に代表される柔らかな「白」をインテリアデザインの基本に据え、屋形内側には松や杉材を使用し、柔らかく包まれる白の空間を演出

あいやま

藍山

しらつき

白月

ぎふ長良川の鵜飼の夜の風景に欠かさない、篝火の色をモチーフにインテリアをコーディネートし、炎の揺らぎをイメージして橙の空間を演出



高級観覧船の運航方法

- ◆高ポジションでの鵜飼観覧
 狩り下り、付け見せに関わらず、乗船日に提供できる最高の鵜飼観覧をお届けします
 ※狩り下り…観覧船と鵜匠の舟が並走し鵜飼を観覧
 ※付け見せ…観覧船を河川敷に停泊させその前を通る鵜匠の舟を観覧
- ◆鵜匠による個別の鵜飼説明
 河川敷に停泊中の観覧船で鵜匠が特別に鵜飼説明を実施します
 ※但し、御料鵜飼実施日・花火大会の日は適応外となります
- ◆あがり(漁の片づけ)を鑑賞
 鵜飼終了後に鵜匠が漁終いを行う様を間近で鑑賞いただけます
- ◆専用タラップでの乗下船
 高級船専用のタラップで乗下船いただけます(観覧船事務所裏手のりば乗下船の場合のみ)
 ※河川の水位によっては使用できない場合があります

高級観覧船の特色

- ◆室内空間
 ●従来の座敷形式でなく、両側にソファ席を配置しており、遮光カーテンにより快適な空間で鵜飼開始までお過ごしいただけます。また、調光可能な間接照明が空間を優しく包みます
 ●従来の観覧船と異なり足下のままご乗船いただけます
 - ◆テーブルレイアウト
 ●船内で食事をする場合や食後に乗船する場合など、利用状況に合わせてテーブルのレイアウトを選択することが可能です
 ●船内での食事については持ち込みとなります。旅館やホテルの食事付鵜飼パックの利用のほか、仕出し屋等へ依頼することも可能です
 ※詳細はぎふ長良川の鵜飼ホームページでご確認ください
- 〈サイドテーブルレイアウト〉**
 人数分のテーブル(W65×D40×H65)を設置した基本レイアウトで中央部に通路あり

〈センターテーブルレイアウト〉
 中央部に高さを抑えたテーブルを配置し、空間をより広く演出するレイアウト
- | 船名 | 定員 | 料金 | 船種 | 船数 | 構造(木造) | 動力(人力) |
|----|-------|----------|-------|----|--------|--------|
| 藍山 | 15人乗り | 134,100円 | 15人乗り | 2隻 | 2隻 | 2隻 |
| 花篝 | 10人乗り | 89,400円 | 10人乗り | 1隻 | 1隻 | 1隻 |
| 白月 | 10人乗り | 89,400円 | | | | |
- ※税込価格です

取消料 乗船日の7日前以降に取消しを申し出た場合、取消料が発生します。
 ※船券契約がある場合は、その契約に基づきます。 ※100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てます。

取消を申し出た日	取消料の額
乗船日の3日前から2日前までの日	乗船料の額の 2 割の額
乗船日の前日	乗船料の額の 3 割の額
乗船日(出航する時まで)に限る)	乗船料の額の 5 割の額
不参加	乗船料の額の10割の額

取消を申し出た日	取消料の額
乗船日の7日前から2日前までの日	乗船料の額の 2 割の額
乗船日の前日	乗船料の額の 3 割の額
乗船日(出航する時まで)に限る)	乗船料の額の 5 割の額
不参加	乗船料の額の10割の額

手数料 あらかじめ船券契約の締結が必要となります。契約については鵜飼観覧船事務所にお問合せください。